

## 三方パラペットの片流れ屋根の作成方法

文書管理番号：1010-01

### Q. 質問

三方パラペットの片流れ屋根を作成したい。

パラペットは真っ直ぐにたちあげ、中の屋根面に勾配をつけて片流れの屋根にしたい。

### A. 回答

下のような片流れの屋根の水下側を除いて、三方向にパラペットを設けた屋根を作成する手順を説明します。



この屋根を作成する場合、片流れの屋根とパラペットを別々に入力します。

**操作手順** \*間取りは簡略化しています**● 下書き線で、片流れの屋根の範囲を入力**

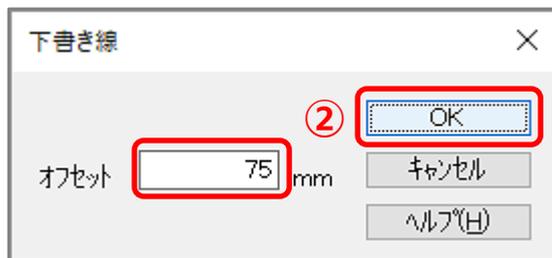
パラペットに接する位置は、パラペットに食い込まないように、壁芯から 75mm 内側で作成します（壁厚の初期値が 150mm のため）。

水下の軒の出も下書き線で位置を入力します。

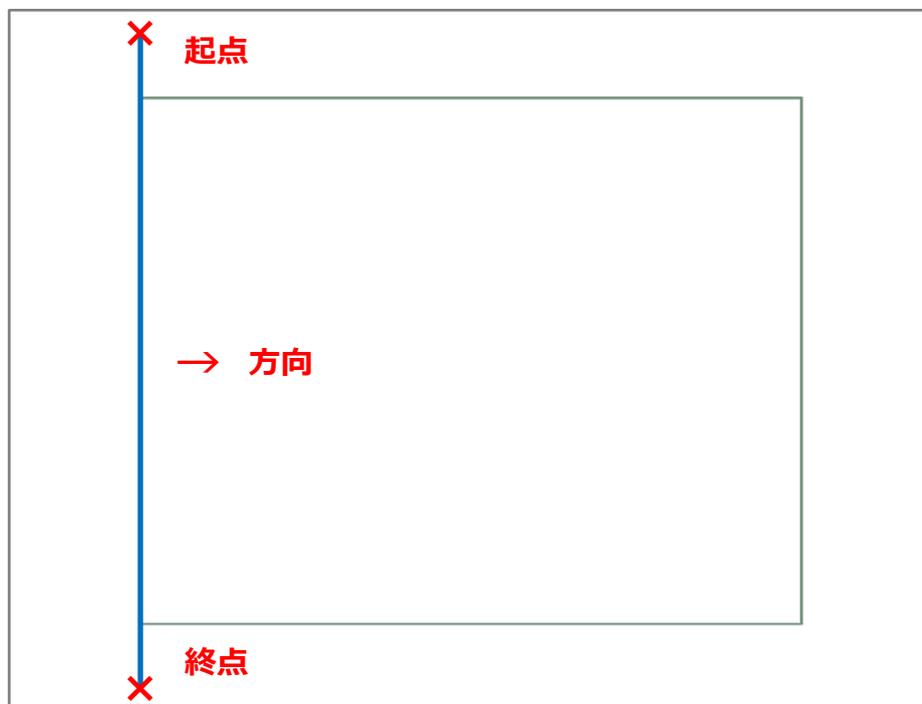
- ①  (下書き線)をクリックし、 (軒先線)の  (オフセット配置)をクリック

\* 下書き線のオフセット値を入力する画面が表示されます。

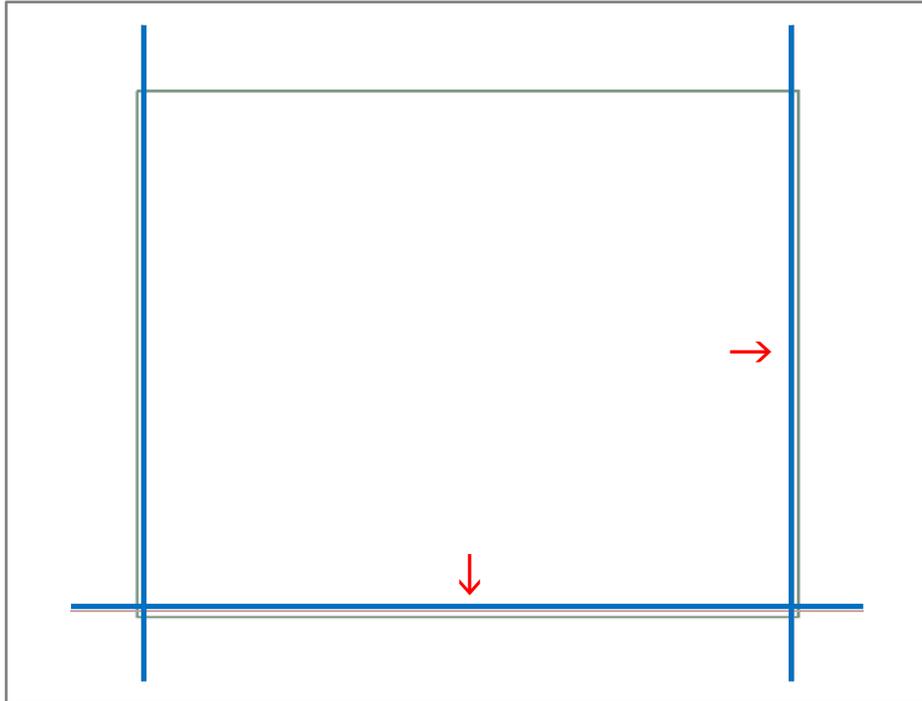
- ② オフセットに「75mm」と入力し、「OK」をクリック



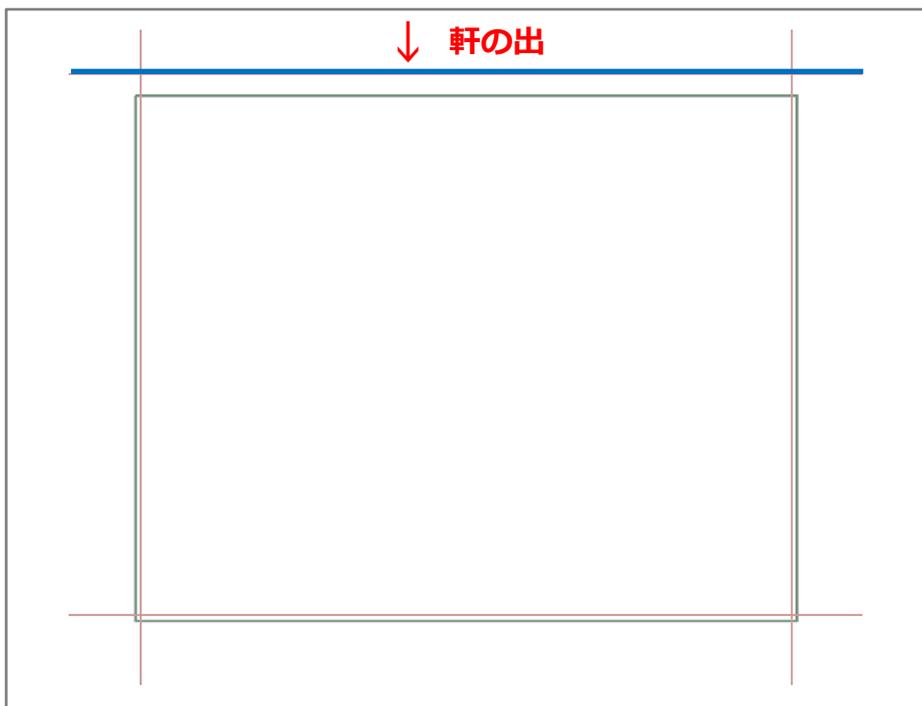
- ③ パラペットと接する位置の壁芯上に、起点－終点を設定し、方向を内側に指示



## ④ 同様に他の2ヶ所も下書き線を入力



## ⑤ 右クリックし、オフセット値を水下の軒の出の数値に変更し、軒の出の位置に同様に入力



- \* 下書き線どうしが交差するように、少し長めに入力してください。
- \* 下書き線の長さが足りない場合は、要素選択で入力済みの下書き線を選択し、右クリックの「伸縮」を利用して延長ができます。
- \* 下書き線の「伸縮」につきましては、こちらをご覧ください。

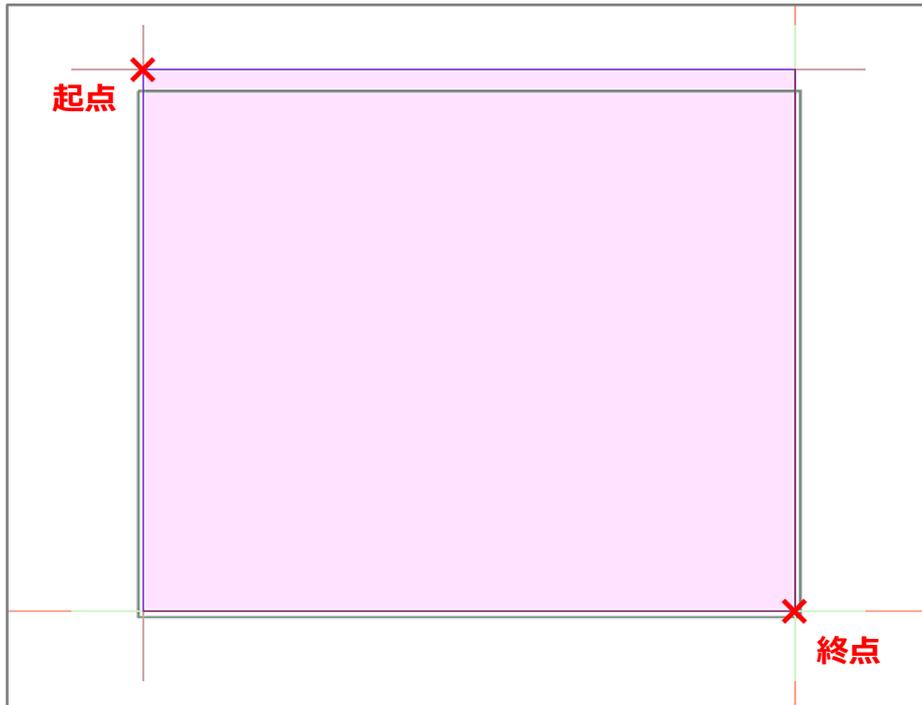
[\[1037\] 補助線の伸縮方法](#)

- 面作成で、片流れの屋根面の形状を作成

入力した下書き線を元に、片流れの屋根面の形状を作成します。

⑥  (面作成)をクリックし、 (屋根面)の  (矩形配置)をクリック

⑦ ③から⑤で入力した下書き線に沿って、起点－終点で屋根面の形状を作成



\* グレーの塗りつぶしで屋根面が作成されます。

- 面設定で、高さや勾配等を決め、片流れの屋根を作成

⑧ (面設定)をクリックし、 (面設定)をクリック

\* 面設定の画面が表示されます。

**面設定**

GL基準  mm

軒基準  mm

勾配  /100

カーベスト, 102, 222

屋根属性  軒先厚  mm

屋根厚 (A+B+C+D)  mm

A: 仕上厚  mm

B: 野地板厚  mm

C: 他下地厚合計  mm

D: 垂木高さ  mm

大屋根

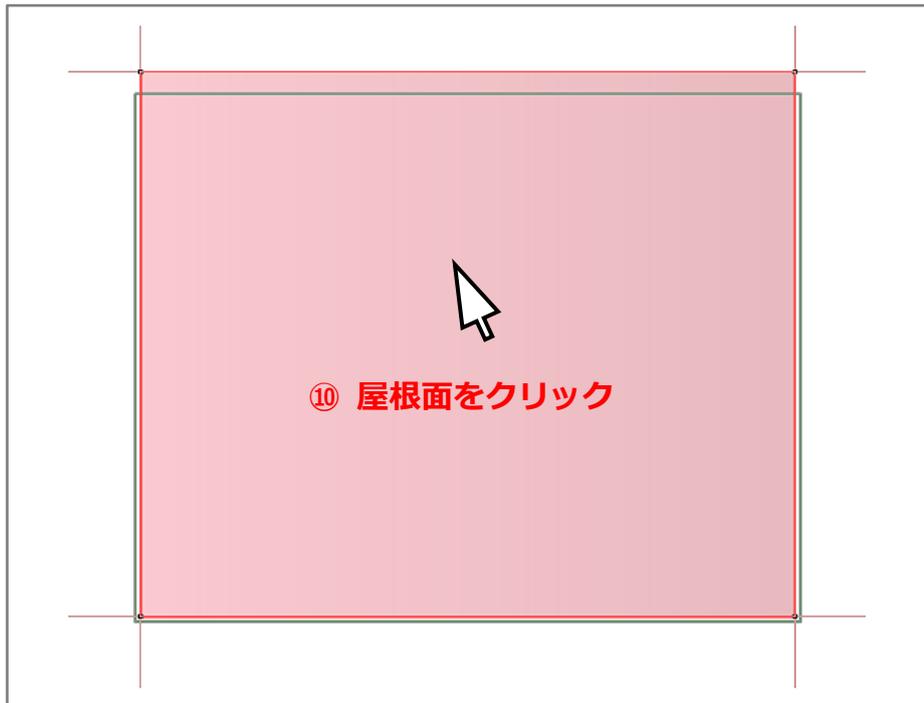
屋根面をすべて変更します。

⑨

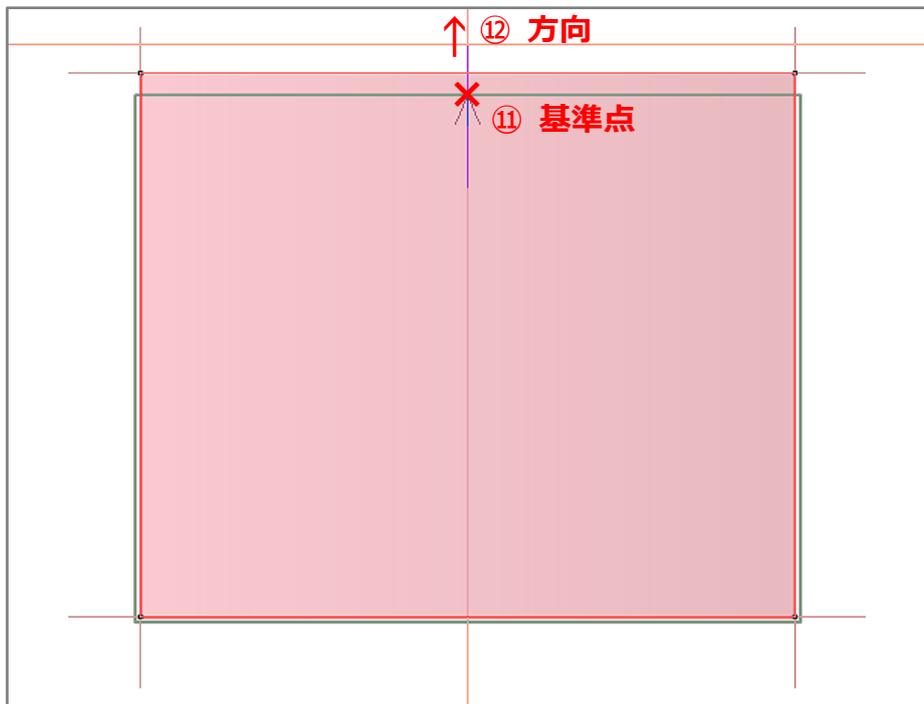
⑨ 高さや勾配を設定し、「OK」をクリック

⑩ ⑦で作成した屋根面を指示

\* 指示した屋根面が赤くなります。

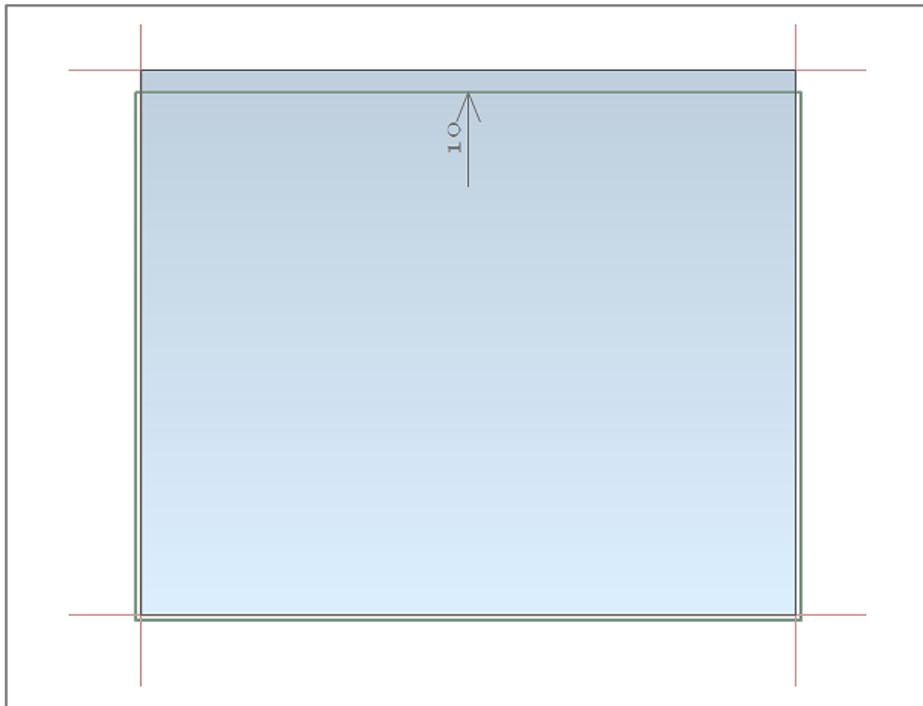


⑪ 基準点(軒桁の高さの位置)を指示



⑫ 矢印が表示されるので、屋根の流れ方向に矢印の向きを合わせ、クリックで確定

\* 屋根面に矢印と勾配が表示されます。



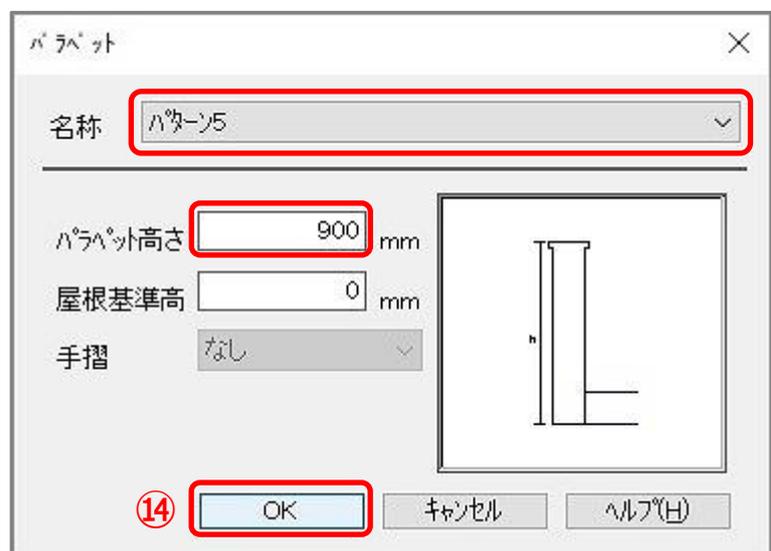
● パラペットを連続配置で壁芯に沿って配置

⑬  (パラペット)をクリック

\* パラペットの設定画面が表示されます。

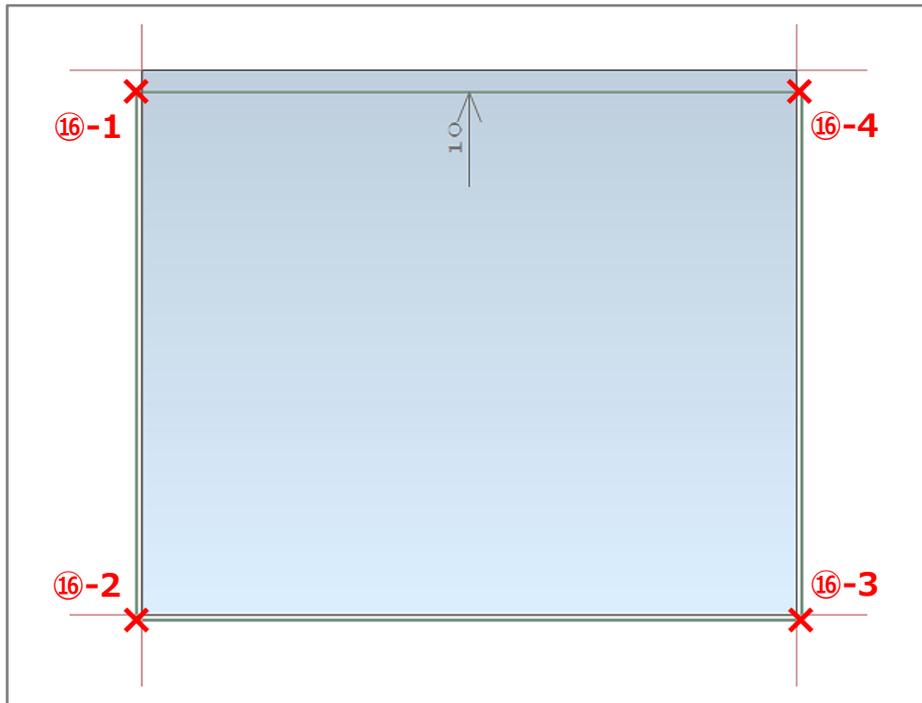
⑭ 名称から「パターン 5」を選択し、パラペットの立ち上がりの高さを設定して、「OK」をクリック

⑮  (連続配置)をクリック



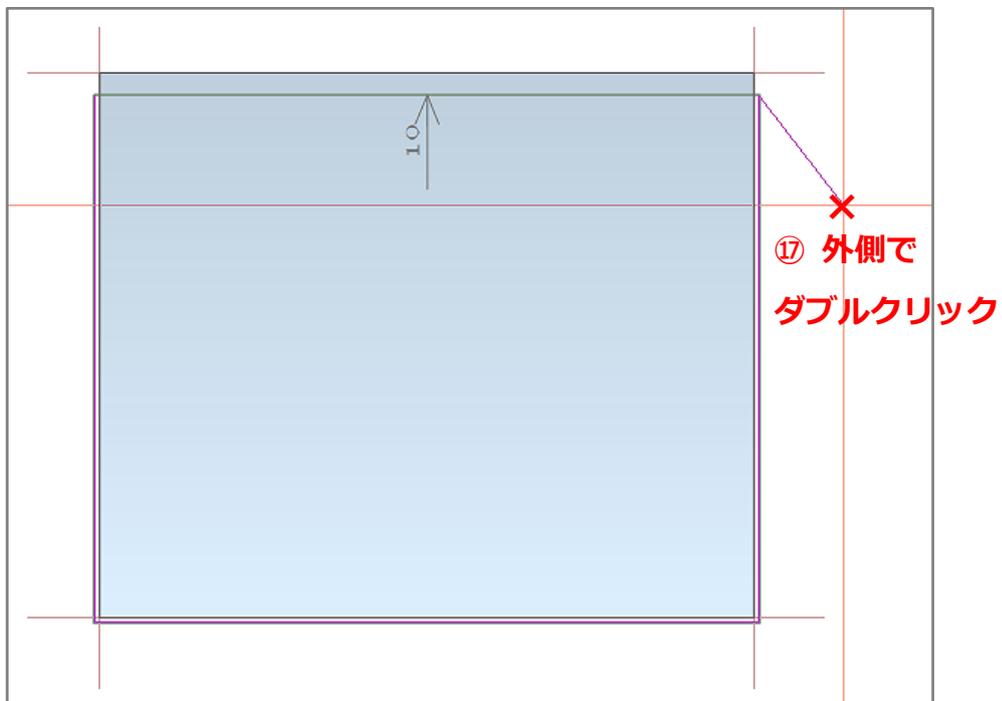
⑩ パラペットを配置する位置を、起点-終点-終点・・・と順に指示

\* 連続折れ線の要領で順にクリックしていきます。



⑪ 最後の点を指示後、外側方向にマウスを少し移動させ、ダブルクリックで確定

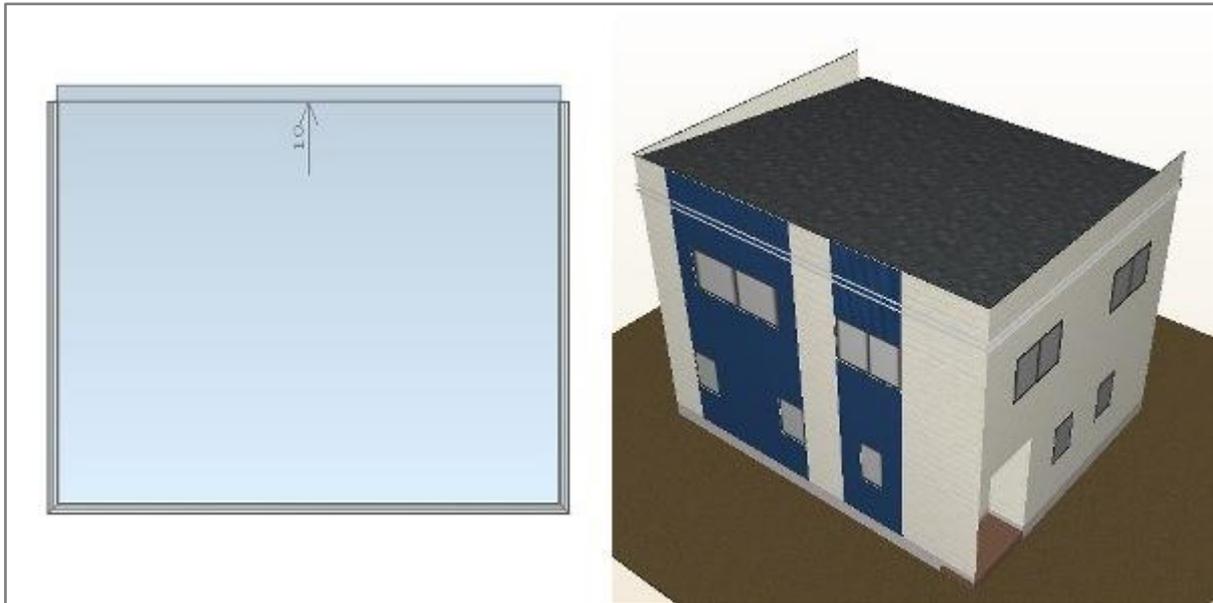
\* 「スペース」キーを押すことでも確定できます。



\* パラペットがコの字型に配置されます。

<屋根伏図>

<リアルタイム3Dビューア>



## 参考

パラペットや屋根面は、配置後に高さ等の変更ができます。

- ① 入力済みのパラペットまたは屋根面を選択し、右クリック
- ② 屋根面の場合は「屋根高さ変更」を、パラペットの場合は「パラペット属性変更」を選択
  - \* 屋根面の場合は面設定の画面が、パラペットの場合はパラペットの設定画面が表示されます。
- ③ 設定を任意に変更し、「OK」をクリック